



## 特集 1

# あの日から 50 年、今、防災を考える

～昭和 42 年大水害から 50 年、『市民防災の日』制定から 10 年～

● 問合先 防災危機管理課防災危機管理係 (☎ 23 2 1 3 0)

今年、昭和 42 年の大水害から 50 年、また、この大水害を教訓とした『市民防災の日』(7 月 9 日)の制定から 10 年の節目の年に当たります。

昭和 42 年 7 月 9 日に伊万里市を襲った集中豪雨は、午前 12 時から午後 2 時までのわずか 2 時間に、144 ミリという脅威的な降雨量を記録しました。市内各地で山腹を崩壊させ、河川を氾濫はんさせたこの豪雨は、死者 12 人、重軽傷者 435 人、住家の全半壊 182 件にのぼる大惨事を引き起こしました。

私たちの住む伊万里市は、長雨や台風などの水害や、土砂災害の危険が大きいところ  
です。また、地域のほとんどが玄海原子力発電所から 30 キロ圏内にあることから、原子力災害への備えも必要です。

災害はいつ、どこで起こるか分かりません。不安を安心に変えるのは、知識と準備、そして早めの行動です。私たち一人一人が心がけておくことを確認しましょう。

# 1 自然災害への備え

自然災害といっても、その種類はさまざまです。自分や家族の命を守るため、災害の原因や状況、対策の方法を紹介いたします。

## ■集中豪雨

集中豪雨は、梅雨の終わりがよりによく起こります。狭い地域に限られ突発的に降るため、その予測は困難で、中小河川の氾濫や土石流、崖崩れなど、大きな被害が発生する恐れがあります。自分の家の周りにどのような危険箇所があるか、ふだんから確認しておきましょう。

## ■台風

九州は、台風の襲来が多い地域です。進路の右側が強風になりやすいため被害が大きくなります。台風の規模や襲来時間は事前に知ることができ、雨や風が強くなる前から早めに準備しましょう。

## ■地震

日本は、世界有数の地震多発国です。恐ろしいのは、いつどこで発生するか予知することが難しいことです。慌てず行動できるように、日頃から心がけておきましょう。

## ■津波

海底を震源とする大きな地震が起こると、津波が発生することがあります。海岸付近で地震を感じたら、急いで高いところへ避難しましょう。

## —— 準備期間を短縮しよう ——

### (1) 日頃から備えておこう

自然災害による被害を最小限に抑えるためには、日頃からの準備や心構えが必要です。突然起きる災害に慌てずに済むよう、備えておくべき主なポイントを紹介いたします。

#### ■家の周囲の点検と整備

雨どいや側溝を掃除して、水の流れを良くしておきましょう。また、壁や扉などに破損しているところがないか確認し、不都合があれば修理や補強をしましょう。崩れやすい崖など、家の周りの危険箇所を調べることも大切です。

#### ■避難所などの確認

避難所や避難経路、家族が

#### ■非常持ち出し品の準備

離ればなれになったときの連絡方法や集合場所などを確認しておきましょう。雨の日を利用して、事前に水の流れなどにも注目したり、水没しやすい道路や、少しの雨でも水かさが増す川などを確認したりしておきましょう。

#### ■非常持ち出し品の準備

昨年4月に発生した熊本地震のように大規模な災害の場

## 6月は土砂災害防止月間

土砂災害は、降雨などによって突然発生し、私たちの生命や財産を一瞬にして奪い、深刻な被害をもたらします。

### ●土砂災害と雨量の関係

土砂災害のほとんどは、梅雨や台風の時期に発生しています。地質や傾斜などによって異なりますが、1時間に20ミリ以上、降り始めから100ミリ以上の雨が続き、土砂災害の危険が高まるため、十分な警戒が必要です。

▶**崖崩れ** しみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、弱くなった人工的な台地の急斜面などが突然崩れ落ちます。

**前ぶれ**：小石が落ちてくる / 崖からの水が濁る / 斜面のひび割れ

▶**地すべり** ゆるやかな斜面で、地中の粘土層が地下水の影響で動き出します。

**前ぶれ**：崖から水が吹き出す / 井戸や沢の水が濁る / 地面のひび割れ

▶**土石流** 谷や斜面にたまった土砂などが、大雨による水と一緒に一気に流れ出します。

**前ぶれ**：山鳴りがする / 川が濁る / 雨が降り続けているのに川の水位が下がる

## 危険を感じたら 早めの避難と連絡を

大雨・洪水警報などの気象警報発表時や市内で震度4以上の地震が発生した際は、市は災害情報連絡室を設置し、情報収集と対応にあたります。

▶その際は、各町・地区公民館を自主避難所として開設し、避難する人の受け入れを行います。

▶大雨・台風・地震などで身の危険を感じた場合は、早めに指定の避難所（次ページ参照）に避難してください。

▶災害が発生する恐れがある場合や、災害が発生したときは、まず身の安全を確保し、市に連絡してください。

## (2) さまざまな情報を活用しよう

自然災害から命を守るためには、災害情報を1秒でも早く入手することが重要です。テレビやラジオなど、さまざまな方法で情報を入手し、避難などに活用しましょう。

### ■緊急速報メール

市では、携帯電話会社（NTTドコモ、ソフトバンク、KDDI（au））が提供するエリアメールなどの緊急速報メールサービスを利用し、災害に関する緊急情報を市内にある携帯電話に一斉配信を行います。

### ▽配信情報の種類

避難勧告、避難指示（緊急）、津波警報、国民保護情報など

### ▽配信エリア

市内全域（市民はもちろん、一時的にエリア内にいる観光客なども受信できます）

※受信料は無料です。

### ▽注意事項

機種によっては、サービスの全部または一部が利用できない場合があります。受信可能機種の確認や、機種ごとの受信設定方法・別の携帯電話会社での受信などについては、各携帯電話会社の窓口またはホームページで確認してください。

### ■防災気象情報

気象台では、気象災害が発生する恐れがある場合、防災気象情報を発表しています。デジタル対応テレビのdボタンや気象庁のホームページ、佐賀県あんあんメールなどで確認できます。

### ▽大雨警報・洪水警報

土砂災害や浸水害、洪水害の危険がある場所では避難の準備をしてください。特に、高齢者などは早めに避難してください。

### ▽土砂災害警戒情報

崖の近くなど、土砂災害の危険がある場所では速やかに避難してください。

### ▽特別警戒

災害の危険がある場所では避難所へ避難するか、外出が危険な場合は家の2階などの高い所へ避難してください。

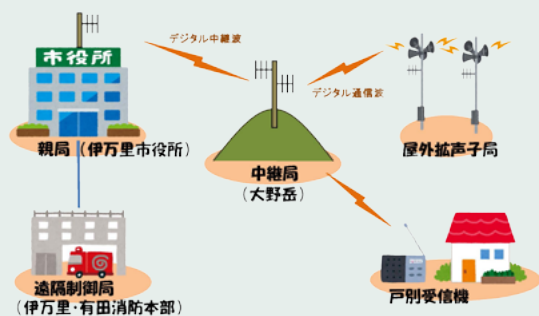
### ●問合せ

佐賀地方気象台  
☎095227025

## 防災行政無線の試験運用を開始します

平成28年度から30年度にかけて、災害時や緊急時に市民の皆さんへ情報を迅速にお伝えすることができる防災行政無線を整備しており、平成29年8月から本格運用をするまでの間、整備ができた施設から順次、試験運用を開始します。

### 【整備イメージ】



### 【防災行政無線で放送する主な内容】

#### 1 災害関連情報

- ・緊急地震速報
- ・土砂災害警戒情報の伝達
- ・特別警戒
- ・避難準備・高齢者等避難開始の発令
- ・避難勧告の発令
- ・避難指示（緊急）の発令

#### 2 行政関連情報

- ・国民保護（武力攻撃）
- ・凶悪事件の発生
- ・危険動物の出没
- ・緊急の断水情報
- ・火災情報
- ・時報（12:00、17:00）

### 【防災行政無線のほかにもいろいろな手段で情報をお知らせします】

- ①緊急速報メール（エリアメール）
- ②登録メール（防災ネットあんあん）
- ③市ホームページ、フェイスブック、ツイッター
- ④ケーブルテレビ
- ⑤電話自動応答装置

## 避難勧告などの『避難情報』の名称が変更されました

平成28年8月の台風10号による水害では、『避難準備情報』の意味するところが伝わっておらず、適切な避難行動がとられなかったことを踏まえ、国は高齢者などが避難を開始する段階であることを明確にするなどの理由から、避難情報の名称を下のとおりに変更しています。

（変更前）『避難準備情報』  
（変更後）『避難準備・高齢者等避難開始』

（変更前）『避難勧告』  
（変更後）『避難勧告』

（変更前）『避難指示』  
（変更後）『避難指示（緊急）』



# 指定緊急避難場所・指定避難所一覧表

町・地区	指定緊急避難場所	指定避難所			
伊万里	伊万里公民館、伊万里小学校グラウンド、啓成中学校グラウンド、市民センターお祭り広場	伊万里公民館	23-9988	伊万里小学校	23-4128
		啓成中学校	22-3600	生涯学習センター	22-1262
牧島	牧島公民館、牧島小学校グラウンド、啓成中学校グラウンド	牧島公民館	22-5783	啓成中学校	22-3600
大坪	大坪公民館、大坪小学校グラウンド、伊万里中学校グラウンド、国見台公園	大坪公民館	23-9898	大坪小学校	23-6148
		伊万里中学校	23-4158		
立花	立花公民館、立花小学校グラウンド、国見台公園	立花公民館	20-4567	立花小学校	23-2100
		同和教育集会所	22-7462		
大川内	大川内公民館、大川内小学校グラウンド	大川内公民館	23-2774	大川内小学校	23-2542
黒川	黒川公民館、東黒川運動広場、青嶺中学校グラウンド	黒川公民館	27-0001	青嶺中学校	27-0053
		林業研修センター	27-1169		
波多津	波多津老人憩いの家、波多津小学校駐車場、青嶺中学校グラウンド	波多津老人憩いの家	25-0890	波多津小学校校舎	25-0064
		青嶺中学校	27-0053		
南波多	南波多公民館、南波多小学校グラウンド、南波多中学校グラウンド	南波多公民館	24-2001	南波多小学校	24-2007
		南波多ミンスポーツ会館	—	南波多中学校校舎	24-2008
大川	大川町コミュニティーセンター、大川小学校グラウンド、東陵中学校グラウンド、大川運動広場	大川コミュニティーセンター	29-2001	大川小学校	29-2005
		東陵中学校	26-2012	隣保館	29-2088
		大川体育館	—		
松浦	松浦公民館、松浦小学校グラウンド、東陵中学校グラウンド、松浦運動広場	松浦公民館	26-2001	松浦小学校	26-2050
		東陵中学校	26-2012		
二里	二里公民館、二里小学校グラウンド、国見中学校グラウンド、国見台公園	二里公民館	23-3024	二里小学校	23-3463
		国見中学校	23-5195		
東山代	東山代公民館、東山代小学校グラウンド、国見中学校グラウンド、滝野小中学校グラウンド	東山代公民館	28-0001	東山代小学校	28-0024
		国見中学校	23-5195	滝野小中学校校舎	28-0023
山代	山代公民館、山代東小学校グラウンド、山代西小学校グラウンド、山代中学校グラウンド、浦ノ崎運動広場	山代公民館	28-2001	山代東小学校体育館	28-2009
		山代西小学校	28-3015	山代中学校	28-2026

## ■避難するときの注意

- ▷大雨警報発表時など、災害が発生する恐れがある場合は、各町公民館に市職員が待機しています。避難する場合は、まず各町公民館に避難してください。
- ▷その他の指定避難所は、休日や夜間などに無人となることがあります。事前に電話などで確認のうえ避難してください。
- ▷指定緊急避難場所としている小・中学校のグラウンドなどは、突発的に大規模な災害が発生し、市の災害対策本部から指示があるまでの間、一時的に避難する場所です。

【表1】災害時における関係機関連絡先

こんなとき（状況）	機関名	電話番号
地すべり、崖崩れ、道路の損壊、河川の増水などのとき	伊万里市役所	23-2111
	伊万里土木事務所	23-4151
災害により生命、身体、財産に危害が及びそうとき	伊万里警察署	110 または 23-3144
災害が発生したとき、けが人や病人がでたとき	伊万里消防署	119 または 23-2119
水道管の破裂などのとき	伊万里市水道部	23-5400
停電などのとき（波多津地区を除く）	九州電力株式会社 武雄営業所	フリーダイヤル 0120-986-304
停電などのとき（波多津地区）	九州電力株式会社 唐津営業所	フリーダイヤル 0120-986-301

(3) もしものときは早めに通報を  
 災害が発生した場合は、関係機関（左の「表1」）が対応します。災害が発生したとき、または発生する恐れがあると感じたときは、早めに通報しましょう。

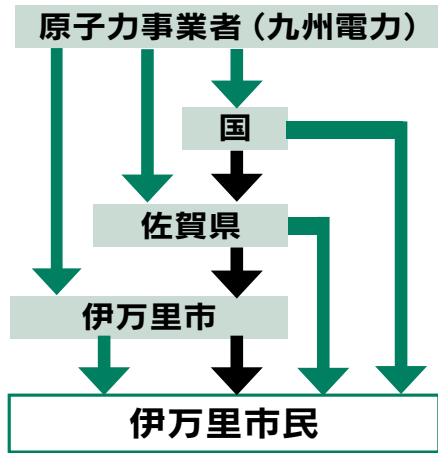
## ■緊急時には携帯電話でも情報を確認できます

地震発生などの緊急情報は、携帯電話やスマートフォン、タブレットでも確認できます。外出時の情報収集にお役立てください。市ホームページアドレスは次のとおりです。

<http://www.city.imari.saga.jp/>

※九州電力の携帯サイトにもリンクしています。

原発事故発生時の情報伝達経路



**原発事故発生時の情報**  
 原発事故の状況について、国、県、市のそれぞれから情報を伝達します。

**防災活動の指示**  
 屋内退避や避難指示などは、国の指示に基づき市から伝達します。

【伝達方法】

- ▷テレビ・ラジオ放送
- ▷区長、地区防災会による連絡
- ▷消防団による広報
- ▷ケーブルテレビの緊急放送
- ▷市ホームページ掲載
- ▷緊急速報メール配信 など

## 2 原子力災害への備え

市では、玄海原子力発電所の近隣に位置していることから、佐賀県から市内全域が緊急時防護措置準備区域（UPZ）の指定を受け、さまざまな対策に取り組んでいます。ここでは、市原子力災害避難計画の概要などについて紹介します。

### ■市原子力避難計画の概要

#### ●避難先

▽すべての市民は、玄海原子力発電所から30<sup>キ</sup>圏外の市町に避難します。

▽自治会ごとに同一の避難所（地域）を指定しています。

#### ●避難方法

▽原則として自家用車を利用して避難します。

▽自家用車での避難ができない人は、近所の人の車に乗

#### ●避難経路

▽主要避難経路（幹線道路）を通ることを基本とします。

▽主要避難経路から避難所（施設）までの間の誘導は、警察や避難受け入れ市町の協力を得て行います。

●緊急時のための対応  
 ●安定ヨウ素剤を配備  
 玄海原子力発電所から30<sup>キ</sup>圏内の市民への対応として、県は、市内の各町・地区公民館と市内の小・中学校に安定ヨウ素剤（成人換算で9万6500人分）を配備しています。



●服用の目的・効果  
 安定ヨウ素剤は、原子力発電所の事故で放出の恐れがある放射性ヨウ素による被ばくを阻止・低減する効果があります。  
 ※万一、原子力発電所の事故が発生した場合、県の指示により服用します。

【表2】 原子力災害時における伊万里市民の避難所

町・地区	避難所	町・地区	避難所
伊万里 (全世帯)	有田町 (黒牟田街なみ集会場など32避難所)	波多津 (全世帯)	武雄市 (橘公民館など8避難所)
牧 島 (全世帯)	有田町 (有田町体育センターなど10避難所)	南波多 (全世帯)	武雄市 (北方スポーツセンターなど7避難所)
大 坪 (全世帯)	太良町 (自然休養村管理センターなど16避難所)	大 川 (全世帯)	鹿島市 (鹿島高等学校など7避難所)
立 花 (全世帯)	鹿島市 (林業体育館など19避難所)	松 浦 (全世帯)	嬉野市 (塩田中学校など6避難所)
大川内 (岩谷・市山・正力坊)	武雄市 (川登中学校の1避難所)	二 里 (全世帯)	嬉野市 (嬉野高等学校など36避難所)
大川内 (上記を除く)	嬉野市 (塩田工業高等学校など12避難所)	東山代 (全世帯)	武雄市 (朝日小学校など12避難所)
黒 川 (全世帯)	武雄市 (武内小学校など7避難所)	山 代 (全世帯)	武雄市 (武雄高等学校など18避難所)

## 7月9日は『市民防災の日』です

市は、昭和42年7月9日の大水害を教訓とし、その記憶を風化させないために、また、地域や家庭などにおいて一人一人に防災意識を高めてもらうとともに、市と市民全体で防災対策を行っていくため、7月9日を『市民防災の日』と定めています。当日は、市民ロビーで大水害の写真や防災グッズなどを展示します。今年はこの『市民防災の日』の制定から10年目。この節目に、わが家の防災対策などについて、家族で話し合ってみましょう。

### ■市民防災の日関連事業『防災講演会』

- 日 時 7月9日 (日) 午後2時～4時
- 場 所 市民センター 文化ホール
- 内 容 講演ほか
- ▷演 題 『自主防災組織は地域の要 ～熊本地震から学ぶ～』
- ▷講 師 自主防火クラブ 黒髪校区第4町内自治会 会長 交野富清さん

### ■市民の避難所

原子力災害避難計画に基づく各町・地区の避難所は右の「表2」のとおりです。なお、行政区ごとの避難所については、市防災危機管理課や各町公民館、市ホームページで確認できます。